

第 1 回ホール等文化施設のあり方に関する検討委員会 議事録

日 時：令和 4 年 8 月 2 5 日（木） 1 3 時 3 0 分開会（1 7 時 0 0 分視察終了）

場 所：鳥取市役所本庁舎 6 階 6—5 会議室

出席委員：張委員長、中山副委員長、塩谷委員、河合委員、赤山委員、新委員、神部委員、棚橋委員

欠席委員：なし

事務局：高橋企画推進部長、文化交流課 福山課長、城市課長補佐、藤田
福井資産活用推進課長、西垣係長、須崎生涯学習・スポーツ課長
戸田政策企画課長は欠席

オブザーバーとして、教育福祉振興会田邊管理者も同席

1. 開会

2. あいさつ

3. 委員紹介

4. 会長・副会長選出

ホール等文化施設のあり方に関する検討委員会設置要綱第 5 条、第 6 条の規定により、会長及び副会長の選任について委員へ意見を求め、事務局一任を受けた。

事務局から委員長に張委員、副委員長に中山委員を選出することを提案。全員一致により承認される。

5. 委員長・副委員長あいさつ

6. 議題

(1) 本検討委員会について

(資料 2 について事務局より説明。)

【委員】昨年行われた庁内会議の検討内容は今回の資料に入っていない？

【事務局】配布資料 3 「現状課題」に載せている。

【委員】今回の委員会では、各個別の施設についての言及もしていくのか、それとも鳥取市全体或いは中心市街地としての施設のあり方をマクロ的に見ていくのか。

【事務局】現時点でのイメージとして、ある程度エリアごとに検討することがよいと考えている。中心市街地を見た時に、市の関連施設、県の施設、民間施設がある中で重複するよう

なものとは不要とか新たな機能が必要等を議論いただきたい。

(2) 議題2 文化施設を取り巻く現状・課題について)

(資料3について事務局より説明)

【委員】詳しい説明で課題は理解できた。各施設について月に数回利用しているので様々な事情はわかっている。今後会議を重ねていく中で、色々発言させてもらいたい。

【委員】現状と課題はよく分かった。文化芸術を中心にして、我々市民の生活や暮らしの質をこれによってどう高めていくかということがこの議論の内容なのか、或いはある程度の方角性が、市の中であったのかお聞かせいただきたい。

【事務局】これまで市の内部で調査研究してきた。これを踏まえて、どういう方向性があるのか、今後本会でとりまとめていきたいと思う。人口が減り、財政が厳しくなり、右肩上がりに施設をどんどん作るのはなかなか難しい。しかし行政としては先ず「まちを元気にすること」が行政の責任。厳しい状況ではあるが、その中で文化芸術が盛んになって、鳥取市が元気になるってまちが活性化するにはどうしたらいいのかという視点も持ちながらやっていかなくてはいけない。このような視点を含めて、今後の方向性について一緒に話をしていきたい。

【委員】なぜ鳥取に住んでいて、県外に出ないと活動ができないのか。鳥取市出身、鳥取県出身の芸術家は多いが、その人達が、なぜ鳥取に帰れないのかという現状も皆さんにお伝えしたい。コンサートなども減り、厳しい状況ではある一方、リモートで生活できるようになり、都会から田舎へ移住してきている。ぜひこの文化施設のあり方を検討していく中で、移住も観点にしてももらいたい。

【委員】事務局からの説明資料は統計結果をまとめられたものである。参加者が多い場合、近くで活動ができればよいが、なければ遠いところから集まってくる。そうなると、単純に地元だけにとどまらず、集まる場所としてなにが魅力になるかが大変重要になる。施設の機能、配置等色々な観点から集約していく必要がある。

7. その他

(事務局より10月21日(金) 午後に第2回委員会を予定と説明)

【委員】皆さんが色々自分の専門で意見を出し、市がそれをまとめる形で進めてほしい。

【委員】この委員会で利用者のニーズや現状を把握した上で意見を出し合い、最終的にこういう施設が必要という提言ができるのか。

【事務局】皆様方の意見を集約したものを、事務局がまとめていく。まずは、鳥取市として今後文化施設をどうするか、方向性をある程度出してもらい、次は中心市街地の施設について鳥取市全体の方向性に沿ってどうするか皆様方のご意見をまとめていく。議論の進め方

は今後の皆様の議論の内容に沿う。

【委員】皆さんから理想像を語っていただきたい。するとどういふことをやるべきかという課題が出てくる。そして色々な課題について、立地や施設の機能によって解決するか、運営によって解決するか。また、中心市街地が担うべきもの、一方で各地域においてでしか特色・特徴が出せないような活動もある。このような中心市街地、新市域の住み分けも含めて、最終的にある程度の方向性が見えてくる。

【事務局】皆様方の理想を伺った上で進めるという意見であったので、次の会の進め方を委員長と相談をさせていただき、進めていきたい。

第1回委員会終了後の委員からのアンケートでの意見

- 委員には20代ぐらいの若い人がいないので、実際に施設を利用することが多い人（演者側ではなく客側として）にも意見をもらったかどうか。
→議題 資料2（アンケートの実施について）、アンケート実施中
- 境港にできた新しい施設の資料、茅野市民館の資料など。最近の文化施設のトレンド（複合施設を含めて）。
→資料①
- コロナ禍で鳥取県に移住してきた人の割合や増加のグラフ、全国的にどのような場所への移住が人気なのか知りたい。
→資料②
- 第1回委員会の参考資料3「各施設の稼働率について」、コロナ後の資料があれば見たい。
→資料③（第1回委員会の参考資料3にR1～R3を追加）。
- 第1回委員会の参考資料1（鳥取市文化芸術振興に関する基本方針）の4について現在どのような支援をしているのか。

4 地域の伝統に培われた文化芸術の保存、継承及び活用に関すること

地域の歴史・文化を後世に残していくため、優れた文化芸術活動・作品や貴重な文化財などの保存・活用に努めます。

- (1) 地域の伝統文化の保存・継承活動に対する支援に努めます。
- (2) 地域にゆかりのある芸術家の優れた作品などの保存・継承に努めます。
- (3) 地域の伝統文化の掘り起こし・保存・活用に努めます。
- (4) 地域の伝統文化の担い手となる人材の掘り起こし・育成に努めます。

→資料④「鳥取市文化芸術事業に関する補助金交付要綱」に次の記載があるため資料として配布します。

- (1) 伝統・郷土芸能団体備品整備補助金：麒麟獅子等伝統芸能の備品に対しての修理補助金
- (2) 郷土文化普及啓発補助（郷土の偉人等の顕彰活動支援）

●文化交流課で毎年1～2回開催の鳥取市文化芸術推進協議会で協議された内容について知りたい。

→R2年度、R3年度とも「文化施設のあり方について」と「鳥取市文化芸術振興に関する基本方針について」の内容です。

●R2年度の協議事項

- (1) 市民会館等文化施設のあり方について
- (2) 鳥取市文化芸術振興に関する基本方針について

●R3年度の協議事項

第1回会議：(1) 鳥取市文化芸術振興に関する基本方針について

- 第2回会議：(1) 鳥取市文化芸術振興に関する基本方針の見直しについて
- (2) 市民会館等文化施設のあり方について